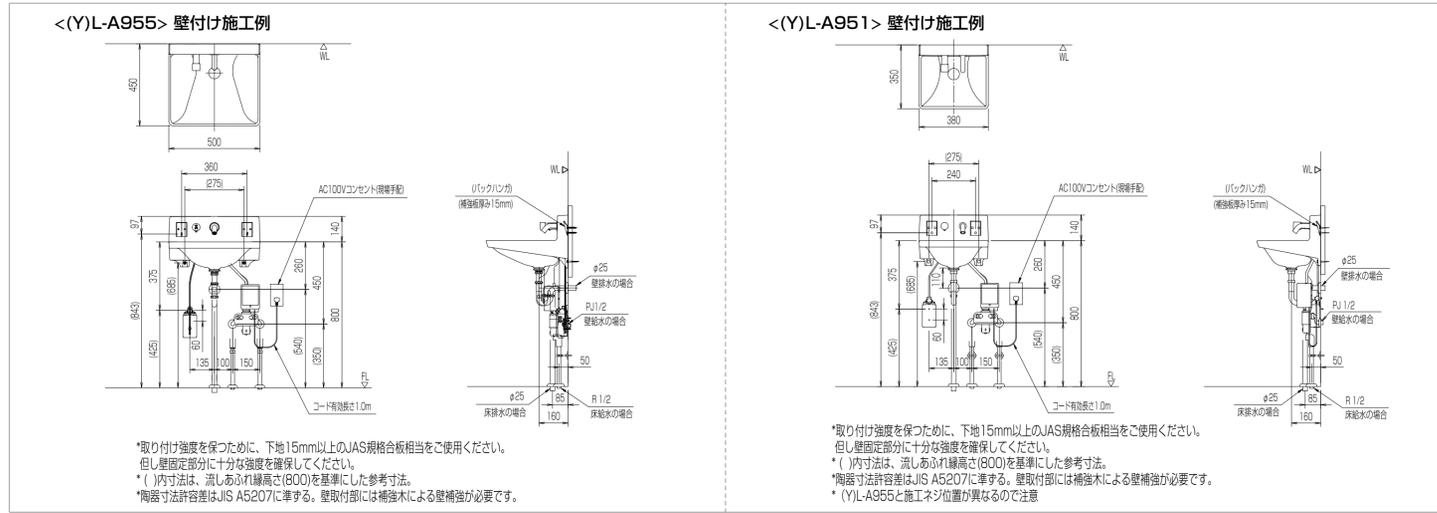


# ハイバックガード洗面器

YL-A955\*  
 YL-A951\*

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

## ●施工完了図



## ●梱包内訳

品番	YL-A955KA2G	YL-A955KA2P	YL-A955KA2H	YL-A955KA2Q	YL-A955KA3G	YL-A955KA3P	YL-A955KA3H	YL-A955KA3Q	YL-A955AG	YL-A955AP	YL-A955AH	YL-A955AQ	YL-A955H2G	YL-A955H2P	YL-A955H2H	YL-A955H2Q	YL-A955HG	YL-A955HP	YL-A955HH	YL-A955HQ
洗面器																				
水栓機能本体部																				
固定金具																				
止水栓																				
排水トラップ カバー付き																				
水石けん入れ タンク																				

品番	YL-A951KA2G	YL-A951KA2P	YL-A951KA2H	YL-A951KA2Q	YL-A951KA3G	YL-A951KA3P	YL-A951KA3H	YL-A951KA3Q	YL-A951AG	YL-A951AP	YL-A951AH	YL-A951AQ	YL-A951H2G	YL-A951H2P	YL-A951H2H	YL-A951H2Q	YL-A951HG	YL-A951HP	YL-A951HH	YL-A951HQ
洗面器																				
水栓機能本体部																				
固定金具																				
止水栓																				
排水トラップ カバー付き																				
水石けん入れ タンク																				

株式会社 LIXIL 商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで  
**ナビダイヤル TEL 0570-017-173**

受付時間 平日 9:00~18:00  
 土日・祝日 9:00~17:00  
 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

品番	YL-A955KA2C	YL-A955KA2A	YL-A955KA2D	YL-A955KA2B	YL-A955KAC	YL-A955KAA	YL-A955KAD	YL-A955KAB	YL-A955A2C	YL-A955A2A	YL-A955A2D	YL-A955A2B	YL-A955AC	YL-A955AA	YL-A955AD	YL-A955AB	YL-A955H2C	YL-A955H2A	YL-A955H2D	YL-A955H2B	YL-A955HC	YL-A955HA	YL-A955HD	YL-A955HB
洗面器																								
水栓機能本体部																								
固定金具																								
止水栓																								
排水トラップ カバー付き																								
水石けん入れ タンク																								

品番	YL-A951KA2C	YL-A951KA2A	YL-A951KA2D	YL-A951KA2B	YL-A951KAC	YL-A951KAA	YL-A951KAD	YL-A951KAB	YL-A951A2C	YL-A951A2A	YL-A951A2D	YL-A951A2B	YL-A951AC	YL-A951AA	YL-A951AD	YL-A951AB	YL-A951H2C	YL-A951H2A	YL-A951H2D	YL-A951H2B	YL-A951HC	YL-A951HA	YL-A951HD	YL-A951HB
洗面器																								
水栓機能本体部																								
固定金具																								
止水栓																								
排水トラップ カバー付き																								
水石けん入れ タンク																								

## ●仕様

項目	仕 様	
	自動水栓タイプ	ハンドル水栓タイプ
使用圧力範囲	AC100V式 0.05~0.75Mpa	アクエナジー式
使用水	水道水および飲用可能な井戸水 ※1	
使用環境温度範囲	0~40℃	-20~40℃ (0℃以下は水を抜いた状態)
使用環境湿度範囲	90%RH以下	-
適正流量範囲	2~3L/分 (2.5L/分 定流量弁内蔵)	
給水 (給湯接続)	単水栓タイプの場合: R 1/2 サーマスタット付タイプの場合: PJ 1/2	PJ 1/2
電源	主電源	AC100V (50Hz/60Hz) 最大DC5V 【電源回路】
	バックアップ	- 最大DC3V 【リチウム電池】
消費電力	常時0.7W以下、作動時3W以下	常時0.1W以下、作動時2W以下
感知方式	光量式可視光センサー	
感知距離	約105mm	
感知エリア幅	約60mm以下 (センサー窓より60mmの位置)	

※1. 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の品質基準に適合する水をいう。

## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、お客さまで保管いただくよう依頼してください。

### 用語および記号の説明

- 警告** … 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** … 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負う又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- !** … 「注意しなさい！」 (上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- !** … 「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)
- !** … 「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)

## ⚠警告

- 【自動水栓の場合】**  
電源コードを傷ついたり、破損したり、加工したり修理に当たったり、引っ張ったり、ねじったり、突いたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。
- 【自動水栓の場合】**  
電源プラグにホコリは、取り除いてください。  
※電源プラグにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、発火の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 【自動水栓の場合】**  
交流100V (50/60Hz) 以外では使用しないでください。  
※発火、ショート、感電の原因になります。
- 【自動水栓の場合】**  
電源プラグをぬれた手で触れないでください。  
※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。
- 【自動水栓の場合】**  
修理技術者以外の方は、水栓を分解したり修理したりしないでください。  
※発火、感電したり、異常動作してケガをすることがあります。
- 【混合水栓の場合】**  
給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。  
※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

## ⚠注意

- 陶器は割れものです。  
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
- 陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。  
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
- 施工後に漏水検査を必ず行ってください。  
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- 衝撃を与えたり、もたれかかたりしないでください。  
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
- トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウエットティッシュ、クレンジング、クレンジングを使用しないでください。  
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。
- オーバードロー穴はありません。あふれ防止のため、吐水中はその場を離れないでください。  
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 陶器に熱湯を注がないでください。  
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 陶器に硬いものを落とさないでください。  
※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。  
※破損部でケガをする恐れがあります。
- 陶器にひびが入ったまま使用しないでください。  
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
- 水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。  
※商品の内部腐により、発火、ショート、感電、故障の原因になります。
- 【混合水栓の場合】  
十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下にしてください。  
※水栓が破損し、家財をぬらす恐れがあります。また誤作動によるヤケド防止のため、60℃を越えない設定としてください。

# ●施工前のご注意

- 商品の表面には、直接工具をかけないでください。工具をかける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 施工の際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 取付強度を保つために、下地に15mm以上のJAS規格合板相当をご使用ください。

# ●施工方法

## 1 給排水管の位置決め、取出し

標準施工図にしたがって給水管・排水管を取り出します。

### 注意

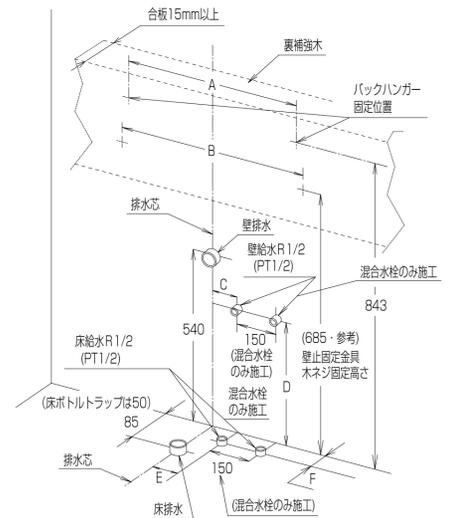
- 器具取付前に給水管・排水管に異物が混入しないようにしてください。
- 給水管にはプラグ (LF-7T)、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。
- 強度確保のため、次のような補強をします。

#### 【木造壁の場合】

下地に15mm以上のJAS規格合板相当をご使用ください。  
※補強木は構造体との固定を行ってください。

#### 【コンクリート壁の場合】

取付部の奥行は75mm以上 (コンクリート厚40mm以上) を確保してください。  
※AYポルト (AY-34 (1P) : 6本) は別途用意ください。  
※重量がありますので、強度が不十分ですと陶器が傾き録の中に水が残ったり、壁の間にすき間が発生する恐れがあります。



	A寸法	B寸法 (参考)	壁給水		床給水	
			C寸法	D寸法	E寸法	F寸法
(Y)L-A951	240	275	ハンドル水栓	ハンドル水栓	75	55
			自動単水栓	自動単水栓	150	50
			自動混合水栓	自動混合水栓	100	50
(Y)L-A955	360	325	ハンドル水栓	ハンドル水栓	75	55
			自動単水栓	自動単水栓	150	50
			自動混合水栓	自動混合水栓	100	50

(単位:mm)

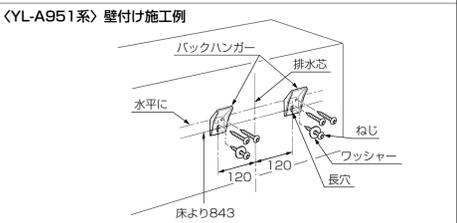
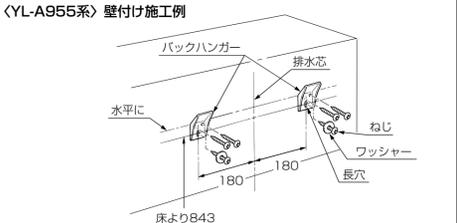
※単水自動水栓、ハンドル水栓の場合は左側止水栓がなくなります。

## 2 配管内の清掃

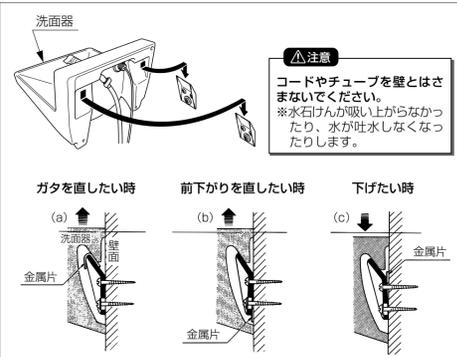
洗面器を取り付ける前に必ず配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流します。  
※給水管の防露対策は必要に応じて現場で行ってください。

## 3 バックハンガーによる洗面器の取付け

1. 下記の壁面の所定位置に、左右のバックハンガーが各々傾きのないよう、また、左右の高さが同一水平面にそるうように正しく取り付けます。



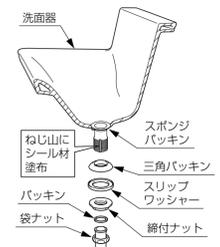
2. 洗面器をバックハンガーに仮取付けし、洗面器を押さえ、左右の傾きやガタつき、前下がりを確認します。傾き、ガタ、前下がりのある場合は、金属片の薄片を下がっている方、またはガタつく方のバックハンガーの上面 (図a) に折り曲げてあて、また陶器の前下りを直したいときはバックハンガーの下部 (図b) に、下げたいときは上部 (図c) に金属片をはさんで陶器が水平になるように調節してください。不十分ですと水が残ったり、陶器と前板の間にすき間が発生する恐れがあります。



※コンクリート壁の場合、AYポルト用下穴 (φ11、深さ70mm) をあけてください。

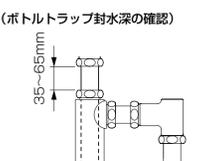
## 4 洗面器排水金具の取付け (ポルトラップ排水の場合)

排水口のツバ下パッキンには、スポンジパッキンが使用してあります。しかし、ねじ山をつたって漏水することが考えられますので図のようにシールしてください。上部にスポンジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。この際締め過ぎにならないように注意してください。  
※排水金具が変形し、漏水の原因になります。

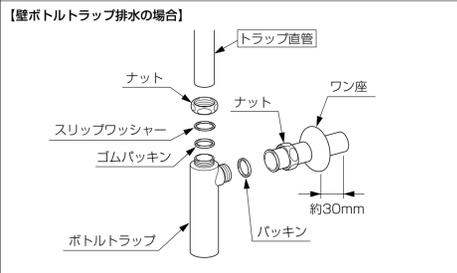
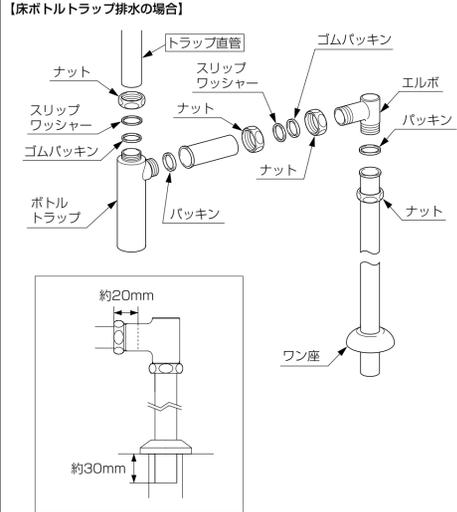


## 5 排水管の接続 (ポルトラップ排水の場合)

排水管の接続を行います。  
※差込みし約30mmを残して切断してください。  
※ポルトラップ封水深の確認を行ってください。  
※エルボとの差込みし約20mm確保してください。  
※トラップ直管は絶対に切らないでください。

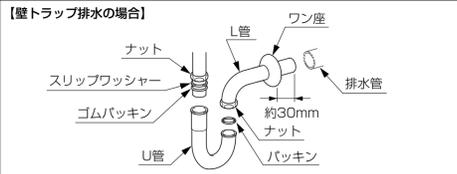
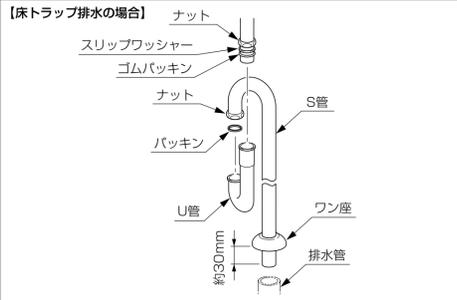


トラップ直管下端を切断しないこと。



## 6 排水管の接続 (トラップ排水管の場合)

排水トラップを仮付けて、L管またはS管を排水管との差込みし約30mm残して切断します。

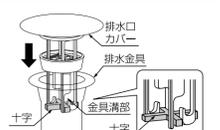


※漏気防止のため、排水管とL管、S管の指込部は、溶接またはメジシールでシールしてください。

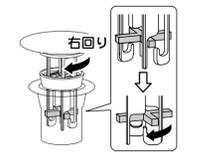
## 7 排水口カバーの取付け

1. 排水口カバーの金具溝部を排水金具の十字の中へ挿入します。

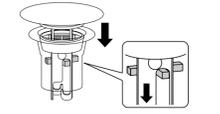
排水口カバーは無理な力を加えないでください。外れにくくなり、外れなくなります。



2. 排水口カバーを右回りにゆっくりと回転させます。



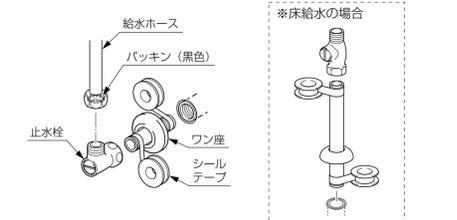
3. 排水口カバーを下に降ろして取付け完了です。



## 8 給水部材の取付け

### ■ハンドル水栓の場合

1. 壁面 (床面) の給水管に止水栓を取り付けます。  
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。  
2. 洗面器からの給水ホースを接続します。



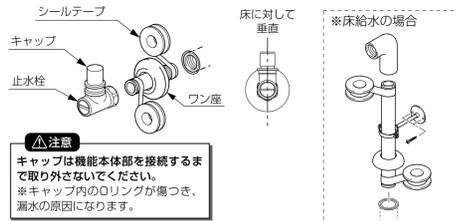
袋ナットにパッキン (黒色) が入っていることを必ず確認してから接続してください。  
※パッキンが入っていないと漏水します。  
●パッキンの表面にゴミがついていないか確認してから接続してください。  
※パッキンの表面にゴミがついていると、漏水する恐れがあります。

### ■自動水栓の場合

#### 1、止水栓の取付け

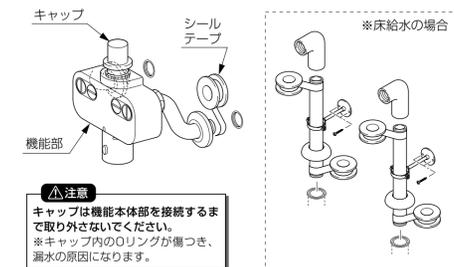
##### 【単水栓の場合】

壁面 (床面) の給水管に止水栓を取り付けます。  
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。



### 【混合水栓の場合】

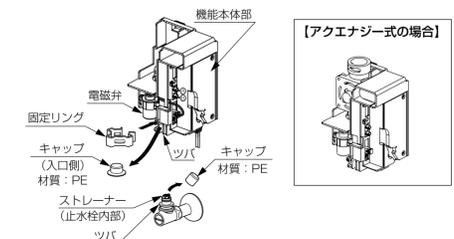
壁面 (床面) の給水管に止水栓機能部を取り付けます。  
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。



### 2、機能本体部の取付け

以下イラストは単水栓 (AC100V式) の場合を示します

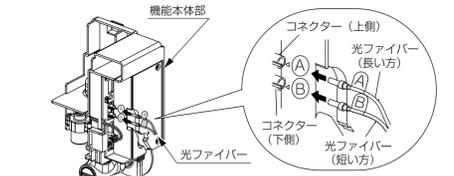
1. 止水栓のキャップと機能本体部の入口側のキャップを取り外し、機能本体部が正面を向くように止水栓のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込みます。



2. 付属の固定リングを接続部 (ツバ部) にはめ込みます。  
確認 かるく機能本体部を上げても、固定リングが外れないこと。

### 3、光ファイバーの接続

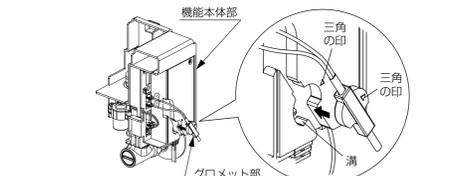
1. 光ファイバー先端の被水袋を取り外し、光ファイバー先端のA側 (長い方) を機能本体部のコネクターA側 (上側) に、光ファイバー先端のB側 (短い方) を機能本体部のコネクターB側 (下側) にそれぞれ差し込みます。



差し込む位置を間違えないように気をつけてください。  
※逆に差し込むと感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。  
●光ファイバー先端の被水袋を取り外す時、カッターは使用しないでください。  
●光ファイバー先端の傷付き、ホコリ、水、油脂などの付着がないように注意してください。  
※感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

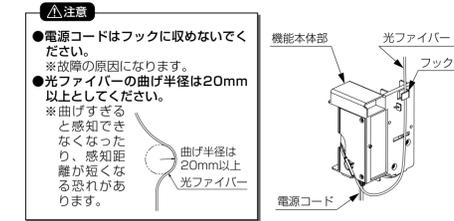
確認 光ファイバーがねじれていないこと。

2. 光ファイバーのグロメット部の三角の印と機能本体部側面の三角の印が向かい合うようにして溝にはめ込みます。



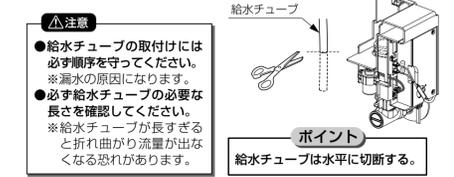
確認 光ファイバーがねじれないように、はめ込んでください。  
※しっかりとめ込まれていないと、フロントケース挿入時に光ファイバーに傷が付き、感知できなくなったり、感知距離が短くなる恐れがあります。

3. 光ファイバーを機能本体部側のフックに取めます。



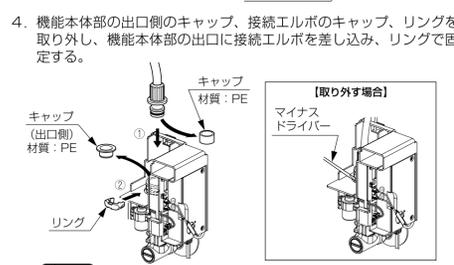
### 4、給水チューブの接続

1. 給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断します。



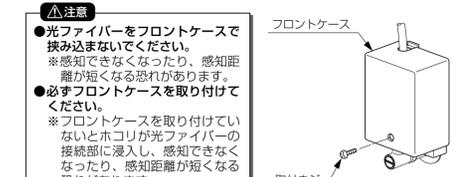
2. 給水チューブに袋ナットを通した後、接続エルボのテーバー部に差し込みます。  
△注意 給水チューブを接続エルボから取り外す場合、カッターは使用しないでください。  
※テーバー部を傷つけ、漏水の原因になります。

3. 袋ナットを接続エルボに手締めで締付ける。  
△注意 締め込みが浅いとチューブが抜けて漏水の恐れがあります。



### 5、フロントケースの取付け

フロントケースをはめ込みプラスドライバーで付属の取付ネジを固定する。



### 6、電源プラグの接続 (AC100V式の場合)

電源プラグをコンセントに接続する。



## 9 水栓施工後の調節

### 1、通水確認

通水確認を以下の要領で行ってください。

#### ■ハンドル水栓の場合

水栓ハンドルを全開にした状態で止水栓を調節し、吐水量を調節する。

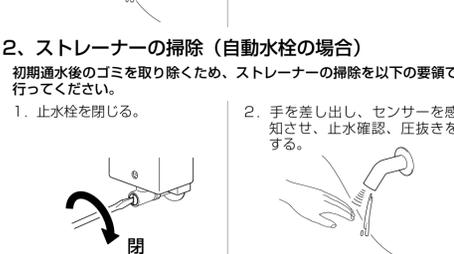
ポイント 流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約12~15秒。

自動水栓の場合 1. 止水栓を開く。

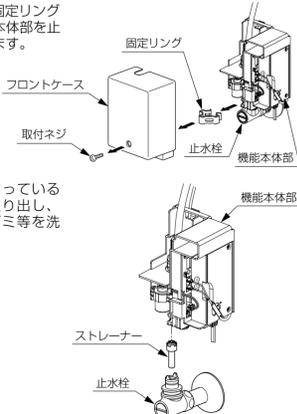


### 2、ストレーナーの掃除 (自動水栓の場合)

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。



3. フロントケース、固定リングを取り外し、機能本体部を止水栓から取り外します。



4. 止水栓の中に取まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。

### 3、流量の調節 (自動水栓の場合)

マイナードライバーで止水栓を逆時計回りいっぱいに回し全開にする。

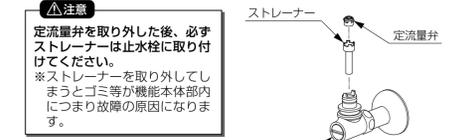
ポイント ●節水のため定流量弁を装着しているので、一定以上の流量 (3L/分以上) は出ない。  
●流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20~30秒。

流量が十分な場合 Ⅲ▶ このままご使用可能  
流量が少ない場合 Ⅲ▶ 「4、流量が不足する場合の調節」へ進む。

### 4、流量が不足する場合の調節 (自動水栓の場合)

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合 は定流量弁を取り外して、流量を調節する必要があります。

1. 止水栓を閉めた後、定流量弁を取り外す。



2. マイナードライバーで止水栓を回し、流量を調節する。

ポイント 流量の目安は1Lの容器いっぱいにするのに約20~30秒。

## 10 水石けんタンクの取付け

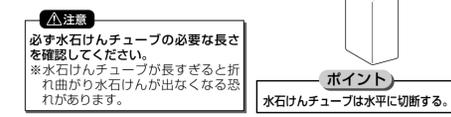
### 1、水石けんタンクの取付け

施工完了図を参照して、所定の位置に水石けんタンクを取り付けます。



### 2、水石けんチューブの接続

1. 水石けんチューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断する。



2. 水石けんチューブを接続プレートに差し込み、クリップで固定する。



## 11 洗面器の固定

洗面器下部を壁面に固定します。

### 【コンクリート壁の場合】

コンクリート壁の場合、AYポルト用下穴 (φ11、深さ70mm) をあけてください。  
※AYポルト (AY-55DN) : 2本入り1セット別途用意ください。

